

2020（令和 2）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2021（令和 2）年 6 月 18 日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規定第14章（自己点検・評価・検証）第55条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2021（令和3）年6月18日

作成者：松本明世（委員長）、和田政裕（副委員長）、石黒直哉（委員）、一色恭徳（委員）、内田昌希（委員）、中谷祥恵（委員）

I 規程及び体制等の整備状況

1) 機関内規程

[現状と点検・評価]

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(以下「基本指針」と表記する)に適合する機関内規程〔城西大学動物実験規程、2007(平成19)年10月12日制定・施行、2010(平成22)年6月23日一部改正、2017(平成29)年10月20日一部改正、2019(平成31)年4月1日一部改正〕が定められており、適正であると判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

2) 各種動物関連委員会

[現状と点検・評価]

基本指針に適合する「城西大学全学動物実験管理委員会」の下、「動物実験管理委員会」「動物実験委員会」「動物実験広報委員会」等、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

3) 動物実験の実施体制

[現状と点検・評価]

動物実験は城西大学動物実験規程第9章に従って実験計画の立案(動物実験計画書、書式1)、審査、手続きを経、適正に実施される体制になっている。動物実験の終了時には実験結果報告書(書式2)と動物実験終了・中止報告書(書式8)の提出が定められており、適正と判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

4) 実験施設の設置状況

[現状と点検・評価]

実験動物の飼養と動物実験が実施された1号館の実験室、16号館の実験室、18号館の実験室、21号館の実験室、22号館の実験室、1号館動物施設、16号館動物施設、21号館動物施設、22号館動物施設、生命科学研究センター内実験室及び動物施設はいずれも城西大学動物実験規程第10章第37条から第42条に従って設置管理され、城西大学全学動物実験管理委員会の承認を得たもので、動物実験に適切な施設であると判断できる(実験室設置承認申請書 書式5、実験室設置承認書)。また実験動物の飼育・管理に関しては同規程第11章第43条から第51条に適合する施設が設置されている(飼育保管施設設置承認申請書 書式4、飼育保管施設設置承認申請書)。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

5) 安全管理状況

[現状と点検・評価]

動物実験を実施する学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理

委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」に参加することが義務付けられており、安全管理体制は整備されている（実験動物施設利用の手引、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン）。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

II 実施状況

1) 動物実験委員会

[現状と点検・評価]

「城西大学動物実験規程」に基づき、委員会活動が実施されており、基本指針に適合し、適正に機能していると判断できる。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

2) 動物実験の実施状況

[現状と点検・評価]

2020（令和2）年度は107件の動物実験計画書が提出され、外部委員2名を含む動物実験委員会（7名）で本学の動物実験規程に照らして審査した結果、すべての動物実験計画が許可された。動物実験委員会による動物実験計画書の審査は、厳正・適正に実施されたと判断できる。

2020（令和2）年度「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが合同で作成したビデオ教材をMS Teamsを用いてWeb配信した。動物実験を実施するすべての学部学生、大学院生及び教職員は、講習用のビデオ教材を視聴することによって、教育訓練が実施された（総計329名受講）。その結果、動物実験の実施状況は良好であった。

2020（令和2）年度に実施された動物実験に関する動物実験計画書（書式1）、動物実験結果報告書（書式2）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）、動物実験終了・中止報告書（書式8）（延べ107件）を精査した（2021年6月18日）結果を別表にまとめて示した。別表の申請数とは最初の動物実験計画書の申請数であり、使用数は動物実験終了・中止報告書の使用数である。

2020（令和2）年度の実験動物使用匹数は以下の通りである。

・ラット	1,735 頭
・マウス	2,539 頭
・両棲類	221 匹
・魚類	370 匹
合計	4,865 頭

全ての動物実験において所定の書式が提出され、承認されている。また、申請数と使用数の間に当初の計画と大きな違いがあるものについては、動物実験計画（変更・追加）承認申請書が提出され、承認されている。

2020（令和2）年度における動物実験に基づく研究成果は学会における発表12報、誌上発表7報が公表された。学会発表の件数はコロナ禍の影響もあり、2019（令和元）年度に比べて減少したが、誌上発表の件数は昨年度を2件上回った。また、動物実験報告書をみると論文執筆中、投稿準備中としているものも多く、誌上発表を意識していることが判断できる。くわえて、多くの研究成果が卒業研究論文、修士研究論文等にまとめられている。

2020（令和2）年度において、実験計画書107件中21件が中止、また、実験計画の実施時期を先送りすること（研究の継続）による実験動物使用数が「0頭」に変更された実験計画も21件あった。これらを合わせると42件になり、2020（令和2）年度に承認された実験計画の40%弱を占めていた。その結果、2020（令和2）年度に実験に使用された実験動物の総数4,865頭は、2019（令和元）年度の10,073頭に比べて、大幅に減少した。これは、2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、緊急事態宣言の発令、三密の回避による研究室の使用人員の制限など、教育研究活動に大きな制限が設けられた結果であると判断される。

[改善方策]

実施された動物実験は適切であったと評価できる。研究成果の公表については、今後、さらに誌上発表数の増加が望まれる。

新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息し、安心・安全な教育研究環境が戻り、活発に研究活動が実施されることを願っている。

3) 実験動物の飼育保管環境

[現状と点検・評価]

実験動物の飼育・管理に関しては城西大学動物実験規程第11章第43条から第51条に従って適正に実施された。東日本大震災の教訓から、動物飼育施設において、特に遺伝子改変動物の飼育に関しては、厳重な飼育場所と同時にネズミ返し等の防御策がとられている。

飼養施設における実験動物への感染症予防のために、1号館動物施設、16号館動物施設、21号館動物施設、22号館動物施設、生命科学センター内実験室及び動物施設は、定期消毒が実施されている。また、他の実験室や飼育室も適切に管理・清掃されている。

[改善方策]

地震などによるケージの落下を想定し動物が逸走しないよう、引き続き飼育環境の整備に努める。

4) 教育訓練の実施状況

[現状と点検・評価]

2020（令和2）年度 動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会は、動物実験に関わる全ての教員、大学院生、学部学生、研究生を対象として、新型コロナウイルス感染症防止

対策のために、MS Teams による教育訓練ビデオ教材を用いて、2020 年 6 月～2020 年 9 月の期間で、適正に実施された（総計 329 名受講）。

また、「犠牲動物に対する慰霊式」は、2021 年 3 月 9 日（火）9:30～16:30 に機器分析センター 2 階渡り廊下を会場として開催され、184 名が参加した。2019（令和元）年度の「犠牲動物に対する慰霊式」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止されたが、今年度は三密を回避しながら実施されたことは評価できる。

[改善方策]

2021（令和 3）年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策が取られている状況下にある。様々な工夫により、適切に動物実験が実施されることが望まれる。

5) 自己点検・評価、情報公開

[現状と点検・評価]

城西大学動物管理自己点検評価委員会による、2020（令和 2）年度の動物実験管理に関する自己点検評価は、全ての動物実験結果報告書が提出され、各委員会の報告書も提出されており、ここに同報告書を作成することができた。

情報公開については、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じて、1) 全学動物管理委員会等の名簿、2) 2020（令和元）年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書、3) 動物実験に関する届出・計画書式が公開されている。

[改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

以上

2020(令和2)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果				中止	使用数 "0"のもの
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*			
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 20001	80	40								1	Int J Pharm, 578, 19186 (2020)			▽			
JU 20002	400	115								1	Pharmaceutics, 12, E427 (2020)			▽			
JU 20003	50	50									論文投稿中	○					
JU 20004	155	103	15	4							学術論文及び学会等で発表予定			▽			
JU 20005	56	64								1	Pharm Res (accepted)			△			
JU 20006	96	19								1	J Control Release, 325, 1-9 (2020)					▽	
JU 20007			72	23							工業所有権の申請 発明の名称「薬物送達制御可能なリポソーム」			▽			
JU 20008			60	12							学術論文及び学会発表予定			▽			
JU 20009	104	104								1	2020年度卒業論文2報 Int J Pharm (in press)	○					
JU 20010	249	249							1		2020年度卒業論文2報 日本薬学会第141年会発表 2020年度卒業論文1報	○					
JU 20011	82	16										○					
JU 20012	36	36										○					
JU 20013	20	20										○					
JU 20014	30	30										○					
JU 20015	30	30											○				
JU 20016	12	12										○					
JU 20017	32	32										○					
JU 20018	32	32										○					
JU 20019	270	135							2		日本薬学会第141年会発表 日本薬学会第35年会発表			▽			
JU 20020	60	38	225	113					1		日本薬学会第35年会発表			▽			
JU 20021			100	0												▽	1
JU 20022	40	0														▽	1
JU 20023	50	0												▽			1
JU 20024	80	6							1		日本薬学会第141年会発表			▽			1
JU 20025	50	0	10	0										▽			1
JU 20026	36	7							1		日本薬学会第141年会発表			▽			1
JU 20027	24	0	24	0										▽			1
JU 20028	18	0												▽			1
JU 20029	18	0												▽			1
JU 20030	18	0												▽			1
JU 20031	18	18									薬学実習C	▽					
JU 20032	4	0									選択科目「薬毒物分析」			▽			1
JU 20033	121	0	616	56	56	0					薬学科 薬学実習E			▽			
JU 20034			60	0							「研究機関等体験事業」城西大学薬学部で学ぶ 「生命と薬」および薬学部一日体験科学教室					1	1
JU 20035	96	96							2	2	Eur J Pharmacol, 891, 173735 (2021) J Pharm Sci, 24, 1-15 (2021) 第64回日本薬学会関東支部大会発表 第94回日本薬理学会発表	○					

2020(令和2)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 "0"のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 20036			96	96							2020年度卒業論文3報		○				
JU 20037			104	0												1	1
JU 20038			120	5										▽			
JU 20039	72	72	108	0							Biol Pharm Bull, 43, 1776-1784 (2020) 第94回日本薬理学会発表 日本薬学会第141年会発表			▽			
JU 20040	50	42									ヘアレスラットの系統維持						
JU 20041	120	0														1	1
JU 20042	130	0														1	1
JU 20043	120	0														1	1
JU 20044	120	0														1	1
JU 20045			80	30							2021年度卒業研究発表予定			▽			
JU 20046	72	0														1	1
JU 20047			120	0												1	1
JU 20048			120	0												1	1
JU 20049			100	0												1	1
JU 20050	90	32	90	0							2021年度卒業研究発表予定			▽			
JU 20051			80	0												1	1
JU 20052	132	0														1	1
JU 20053	30	0									総合医療栄養学演習(大学院 医療栄養学分野)					1	1
JU 20054	100	0	270	0							解剖生理学実験B					1	1
JU 20055	30	0	50	34							投稿準備中				▽		
JU 20056			60	0										▽			1
JU 20057			64	56								▽					
JU 20058			36	0										▽			1
JU 20059	184	0												▽			1
JU 20060	60	0												▽			1
JU 20061	40	0														1	1
JU 20062	60	0												▽			1
JU 20063	60	0												▽			1
JU 20064			20	20							投稿準備中	○					
JU 20065			328	134					1		卒業実験発表 日本薬学会第141年会発表 国際誌投稿予定			▽			
JU 20066			336	226					1		修士論文研究 卒業実験研究 日本薬学会第141年会発表			▽			
JU 20067			60	5							実験動物(ノックアウトマウス)の系統維持・繁殖			▽			
JU 20068			288	145							来年度以降発表予定			▽			
JU 20069			60	68							実験動物(ノックアウトマウス)の系統維持・繁殖			△			
JU 20070	26	26									日本脂質栄養学会第30回大会発表予定	○					
JU 20071	24	24									学会発表予定	○					
JU 20072	30	30									日本脂質栄養学会第30回大会発表予定	○					
JU 20073			30	30							学会発表予定	○					
JU 20074	30	30									学会発表予定	○					

2020(令和2)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)			実験の結果					
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 "0"のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 20075			30	30							学会発表予定	○					
JU 20076	70	0									薬科学実験B ラットの解剖			▽			1
JU 20077			64	64							学会発表予定	○					
JU 20078	12	0	3	0										▽			1
JU 20079			200	200							第75回日本栄養食糧学会発表予定	○					
JU 20080	20	4	960	892					1		日本薬学会第141年会発表予定			○			
JU 20081	260	0									薬学実習A(解剖生理 ラットの解剖)					1	1
JU 20082			180	159							国際学術誌に投稿準備中			▽			
JU 20083			19	23							マウス系統維持と繁殖					△	
JU 20084			12	6							2020年度卒業論文2報			▽			
JU 20085			130	69							2020年度卒業論文1報			▽			
JU 20086			36	0												1	1
JU 20087			35	0												1	1
JU 20088			60	13							栄養学実験(栄養状態や遺伝素因が個体の栄養 応答性に与える影響に関する研究)					▽	
JU 20089			32	0												1	1
JU 20090	50	50									卒業研究発表	○					
JU 20091	32	5												▽			
JU 20092	30	0														1	1
JU 20093	48	0												▽			1
JU 20094	64	64										○					
JU 20095	64	64											○				
JU 20096	48	40	60	0							解剖生理学実験A(病態モデル動物の観察-脂 肪肝病態マウス、胃潰瘍病態ラット、大腸炎病態 マウス)					▽	
JU 20097	72	0												▽			1
JU 20098							220	220				○					
JU 20099							150	150	1		2020年度日本動物学会発表	○					
JU 20100			12	14							6種のポリクローナル抗体作成				△		
JU 20101			10	6										▽			
JU 20102					200	200					標準生物として両生類系統維持	○					
JU 20103					25	21						▽					
JU 20104			12	6										▽			
JU 20105			52	0												1	1
JU 20106			820	0										▽			1
JU 20107			50	0													1
計	4717	1735	6579	2539	281	221	370	370	12	7						21	42

* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

動物実験申請総数:114 件 中止件数:21件 総使用動物数:4,865 頭 学会発表数:21件 誌上発表:7報

2020年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：荻原政彦（委員長）、小林順（副委員長）、北川浩子、清水純、木村光利
鈴木研太（外部委員）、主山しのぶ（外部委員）、
三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、星野雅文（事務長）

1 2020年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2020年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

2 2020年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、飼養保管施設・動物実験施設設置承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を Zoom 形式にて online で実施した。

1) 日時：2020年6月4日、14時00分～14時40分、於：Zoom形式

- ・実験施設設置承認許可（変更）申請書（LH30005 1件）が提出された。
本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、承認された。
- ・実験計画申請書類数 105 件（受付番号 02001～02105）（内新規動物実験実施計画書 25 件）が提出された。
本学の動物実験規定に照らした審査を、新規の C と D を中心に B～D に関し審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。
計画書の内訳ランク A 0 件、B 21 件、C 46 件、D 38 件
- ・実験動物管理委員会からの報告事項として、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、2019 年度「実験動物慰霊祭」及び 2020 年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」の集合研修を中止し、「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」を、Microsoft Teams を用いた動画視聴に代え、既存の教員・大学院生・配属生は 6 月中に、新規配属生は 7 月中に実施する旨を受け、承認した。
- ・動物実験における苦痛度分類に関し、より詳細に審査する為、動物実験計画書用苦痛カテゴリの修正を、8 月を目途に実施した。

2) 日時：2020年10月8日、12時50分～13時20分、於：清光会館1階第1会議室

- ・飼養保育施設・動物実験施設承認許可（変更）申請書（承認番号 08903、F2901、F3101 3 件）が提出された。本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、承認された。
- ・動物実験計画書に関し、新規申請書（02106, 02107 2 件）が提出され、本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。
新規申請書内訳ランク B 0 件、C 0 件、D 2 件
- ・「実験処置コード表（苦痛度検索）」について、修正内容を承認し、上記申請より適用を開始した。

- ・2020年度飼養保管施設の維持管理状況について、動物実験委員会委員により視察が7月14～16日に行われ、施設は適正であった。
- (2) 動物実験管理委員会から提出された2020年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。
 - 1) 日時：2021年4月13日、13時30分～14時20分、於：清光会館1階第1会議室
- ・実施報告書107件（承認番号JU20001～JU20107）（107件）が提出された。
本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。
- ・2020年度「実験動物慰霊式」2021年3月9日（9：30-16：30）184名個別に実施
新型コロナウイルス感染症対策の観点から、機器分析センター2階渡り廊下にて、
上記の日時に個別実施とした。

3 2020年度の動物実験委員会活動の自己評価

コロナ感染症拡大防止対策(3密の回避)を講じながら、年度当初の活動計画を実行できたものと考えられる。

4 その他

2021年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」の教育訓練に関し、コロナ感染症拡大が今年度も継続しているため、全年度同様、集合研修を中止し、教育訓練映像配信に代えて実施依頼(動物実験管理委員会)を承認した。

以上
2021年4月13日(火) 荻原政彦(委員長)

2020 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 夏目、副委員長 須永、岡崎、田中享、大島（新）、菊地、岩田、森田、小川（JAC）
会議回数	3 回（メール会議 2 回含） 議事録は報告書の下に添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 Web 動画配信 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正 3. 2020 年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正 4. 2021 年度動物実験計画書等の作成依頼 5. 動物慰霊祭の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同 6. 2020 年度動物実験結果報告書、2021 年度動物実験計画書等の提出 → 全学動物実験管理委員会へ 7. 以下の項目を適宜、指導、実施する。
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2020 年度「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」のビデオを撮影し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらった。（コロナウイルス感染対策のため）。 2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、加筆訂正後、全学動物実験委員会に提出した（9 月）。 3. 2020 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（2021 年 1 月）、加筆訂正した（2021 年 3 月）。 4. 2021 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（2021 年 1 月）、加筆訂正した（2021 年 3 月）。 5. 全学動物実験管理委員会から依頼のあった動物慰霊祭は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、個人参拝の形式の「実験動物慰霊式」として実施した。 日時：2021 年 3 月 9 日 9：30～16：30 場所：機器分析センター 2 階渡り廊下 6. 2020 年度動物実験結果報告書、2021 年度動物実験計画書等を全学動物実験管理委員会へ提出した（2021 年 3 月）。 7. その他 <ol style="list-style-type: none"> 1) 次年度の動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の開催日時を協議した。コロナウイルス感染のリスクが高いため、2020 年度同様 Web 動画配信にて視聴してもらい申請書等を提出してもらう。 2) 薬学部動物施設および生命科学研究センターの 2021 年度の飼養に関して点検し、各施設から飼養報告書が提出された（別紙添付）。
活動の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね滞りなく行った。 2. 「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」Web 動画配信にて実施し、受講者は 329 名であった。

2020年度第1回動物実験管理委員会 議事録 メール会議

参加者：夏目、須永、岡崎、田中享、大島新、菊地、岩田、森田

日時：2020年5月1日（金）

議題：1. 「動物管理に関する教育訓練および施設利用方法講習会」の動画配信について
動画配信を後期に行うこととした。

以上

2020年度第1回動物実験管理委員会 議事録 メール会議

参加者：夏目、須永、岡崎、田中享、大島新、菊地、岩田、森田

日時：2020年6月1日（月）

議題：1. 「動物管理に関する教育訓練および施設利用方法講習会」の動画配信について
動画配信を後期に行うこととしたが、緊急事態宣言解除により動画配信し6月30日までに受講者を取りまとめることとした。

以上

2020年度第3回動物実験管理委員会 議事録

日時：2021年3月11日（木）16:00～

場所：21号館会議室

出席者：夏目、須永、岡崎、田中享、大島新、菊池、岩田、森田

議題：1) 提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出することとした。

2) 動物実験計画書（書式1）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

3) 次年度の動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会の開催日時について

2021年度の標記開催日時を、コロナウイルス感染防止のためWeb動画配信とした。

2020 年度委員会報告

委員会名	動物実験広報委員会
委員	委員長 上田秀雄 副委員長 片倉賢紀 委員 加園恵三、工藤なをみ、須永克佳、岩田直洋
会議回数	1回 (令和元年度活動報告について)
年度始めの計画	城西大学全学動物実験管理委員会の活動をホームページ等により広報する。
実施状況と結果	実施状況 ① 計画書・届出書式等の更新 ② 全学動物実験管理委員会活動内容の掲載 ③ 城西大学動物実験自己点検・評価報告書の掲載
自己評価	令和元年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書を公開し、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じた情報公開ができたと考えられる。種々フォーマットの更新に伴うホームページの更新も速やかに行われ、妥当な活動が行われたと評価できる。

2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 松本明世 副委員長 和田政裕 委員 石黒直哉 一色恭徳 内田昌希 中谷祥恵
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 全学動物実験管理委員会委員長からの指示により、2020（令和2）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2020（令和2）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 松本 和田 石黒 一色 内田 中谷

期 間 2021（令和3）年6月11日～2021（令和3）年6月16日

議案

1. 2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について
2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上

2020 年度 実験動物飼養施設報告書（薬学部動物施設）

(1) 21 号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。21 号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

① 保守・点検

特になし

② 消毒

7月1日（水）より3日間

③ 不具合の整備・修理

流し台の下部に設置してある排水バルブに関して、未使用時は閉めるよう注意喚起した。

④ 物品購入

清掃・消毒用品等

(2) 16 号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。16 号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

① 保守・点検

空調機器保守等の実施 [6月24日（水）]

② 消毒

6月25日（木）より2日間

③ 不具合の整備・修理

実施なし

④ 物品購入

清掃・消毒用品等

(3) 22 号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。22 号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

① 保守・点検

空調機器保守等の実施 [6月24日（水）]

② 消毒

6月29日（月）より2日間

③ 不具合の整備・修理

実施なし

④ 物品購入

One Cage システム、スチールラック、清掃・消毒用品等清掃・消毒用品等

(4) その他

① 利用者のマナーについて

動物室の利用マナーについて、大きな問題は発生しなかった。

② コロナ禍対応

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う入校制限解除による実験動物の適正利用を促進するために、“薬学部動物施設利用の際の新型コロナウイルス感染症対策について”の作成・掲示を実施した。

以上（文責 菊地）

2020年度 実験動物飼養施設報告書 (理学部動物施設)

(1) 1号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。1号館動物施設の保守・点検・消毒・物品購入等を下記の通り行った。

1) 保守・点検

①空調保守点検：2020年12月8日

②給排気及び空調フィルターの交換を行った。

2) 消毒：2020年12月8、9日

3) 物品購入：飼養用品の補充、清掃・消毒用品・純水装置フィルター等

(2) その他

1) 利用者のマナーについて

利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用しており、問題はなかった。

2) 動物運搬について

配布されたボックス及び収納バックにより運搬しており、問題はなかった。

理学部動物管理委員会委員長

北川 浩子

2020年度 実験動物飼養施設報告（生命科学研究センター）

2020年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受け、4月中旬から5月末まで施設の利用制限を実施し、管理体制の縮小および動物実験の中止等、新型コロナウイルス感染症予防に努めました。6月以降も継続して施設の利用体制を見直し、「生命科学研究センター利用の際の新型コロナウイルス感染症対策」を遵守し施設の運営を図りました。

[修繕]

- 5月25日 5階洗浄室 天井から水漏れ修理（ボイラー配管修理）
- 6月5日 4階廊下 足ふみ式手洗い水道修理
- 6月9日 4階廊下 足ふみ式手洗い水道再修理
- 6月13日 屋上キュービクル内地絡継電器更新作業
- 6月22日 5階SPFエリア シンク水道修理
- 7月28日 4階 飼育室廊下の扉のノブが故障修理
- 8月5日 4階非常扉の故障修理
- 10月9日 1階玄関及び108室窓ガラスのビビ割れ修理
- 10月28日 玄関入口電話機修理・交換
- 10月30日 ドアクローザー交換修理
- 10月30日 4階パススペース扉ノブ交換修理
- 10月30日 4階前室扉ノブハンドル交換修理
- 10月30日 4階前室扉ノブドアクローザー交換修理
- 11月4日 ダムウエダー（小荷物専用昇降機）修理
- 2月9日 5階SPFエリア 殺菌灯設置フックとチェーンの修理
- 3月24日 5階 SPF 飼育室2（504）ドア枠の歪み補正
- 3月29日 生命科学研究センター 5階 SPF 飼育室2（504）のドアハンドル交換

[保守点検]

- 2月17日 オートクレーブ（大型・小型）装置部品交換

[消毒作業]

- 6月8日～26日 生命科学研究センター消毒清掃作業（定期作業）

[環境検査]

- 1回目 6月24日、異常なし
- 2回目 10月14日、異常なし
- 3回目 2月3日、異常なし

[SPFヘアレスラットモニタリング検査]

- 5月19日 定期検査 異常なし
- 9月28日 定期検査 異常なし

2月 8日 定期検査 異常なし

[配付文章]

- 4月14日 「【重要】新型コロナ感染症の拡大に伴う生命科学研究センターの管理体制の縮小および実験動物の処分についてのお願い」
- 5月 1日 「屋上キュービクル内地絡継電器更新作業に伴う全館停電について」
- 5月15日 「屋上キュービクル内地絡継電器更新作業日のお知らせ」
- 5月19日 蒸気配管整備工事による施設の湿度管理について
実験動物施設の消毒日程（案）メール配信
- 5月29日 16・21・22号館動物室、生命科学研究センター消毒日程（お知らせ）
- 6月 1日 生命科学研究センター蒸気配管系統更新工事スケジュール変更について（6/1～8/26）（営繕課）
「緊急事態宣言」解除に伴う動物施設の利用再開について（お知らせ）
- 7月14日 組換え実験に伴う生命科学研究センター感染室の利用について（ご連絡）
- 11月 5日 実験動物の運搬について（お知らせ）
- 11月11日 「入館禁止のお知らせ」配付
- 12月23日 生命科学研究センターのケージ返却について（お願い）
- 2021年
- 1月 9日 「緊急事態宣言」の再発令に伴う動物施設の利用について（お願い）

[整備]

7月31日 生命研5階感染室整備のため、円盤フィルター用アメリカンエアフィルター、ネズミ返し、セーフティラック用ヘパフィルター、ダストロンフィルター設置

[物品購入]

スペリオルファーマ、マイクロカット、殺菌灯 GL-6、GL30、GL15 マイデイリーグローブ、コンフォートサービスタオル、マウス ラット、ヘッドセット、ヘッドセット、リユースマスク（50枚入り）、給水瓶、オスバンS、ウォッシュボン 、ネオポアー、レターケース、フリーザーバック、有機溶媒対応ゴーグル、コンフォートサービスタオル、カネフィール5ミクロン、カネフィール10ミクロン、自在ホーキ、円盤フィルター用アメリカンエアフィルター、ネズミ返し、ヘパフィルター、クリーンキャップ白、殺菌灯 エスクリニカルパック、ニュースワイパー、水中殺菌灯、消毒用エタノール、水道用減圧弁、サニフィールドマスク MOUSE ノートパソコン、スプレーボトル、圧力計、スーパーセキュリティウイルスソフト、ラット（妊娠14日）、自動給水ノズルTV-25、VI用内キャップ（パイプなし）水拭きモップ、替え糸、加熱式加湿器、サラヤノートタッチディスプレイ、カートリッジボトル、カラーレーザープリンター、全自動洗濯機 7kg、フィルターハウジング用D型リング、キムタオル、手指用消毒液1個、エスクリニカルパック、エコンアーク（本体+フタ）、電波時計、エクسسコンテナ

生命科学研究センター
所長 岡崎真理